

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

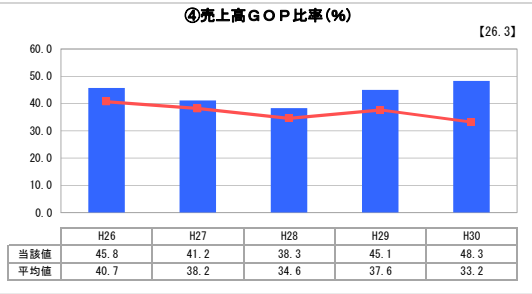
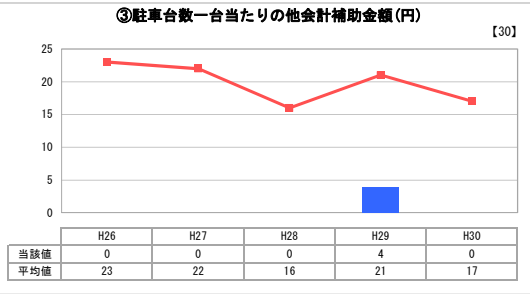
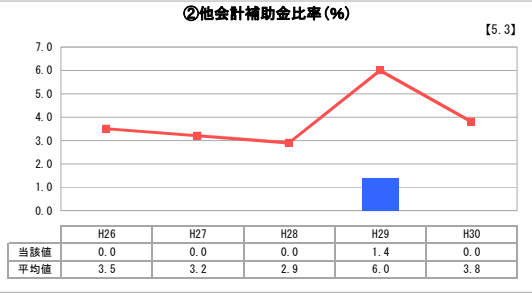
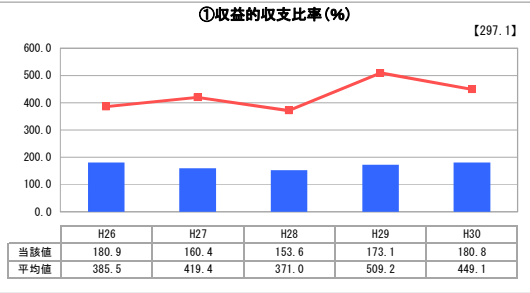
北海道釧路市 釧路河畔駐車場

| 業務名         | 業種名           | 事業名 | 類似施設区分      | 管理者の情報 |
|-------------|---------------|-----|-------------|--------|
| 法非適用        | 駐車場整備事業       | -   | A 3 B 1     | 非設置    |
| 自己資本構成比率(%) | 種類            | 構造  | 建設後の経過年数(年) |        |
| 該当数値なし      | 都市計画駐車場 屈出駐車場 | 広場式 | 18          |        |

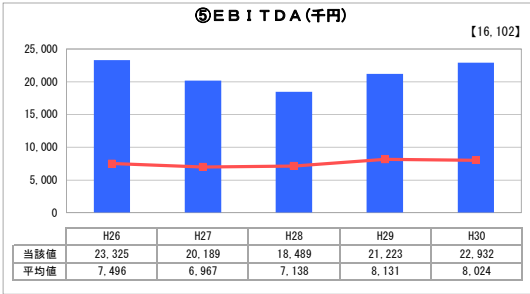
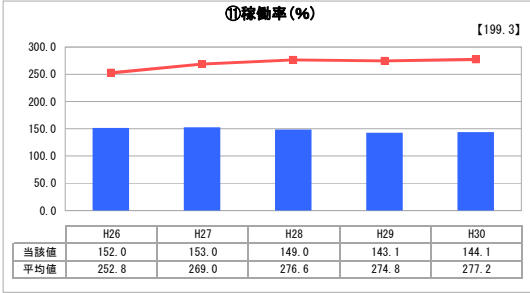
| 立地      | 周辺駐車場の需給実態調査   | 駐車場使用面積(㎡) |
|---------|----------------|------------|
| 商業施設    | 有              | 5,700      |
| 収容台数(台) | 一時間当たりの基本料金(円) | 指定管理者制度の導入 |
| 202     | 220            | 代行制        |

|                |
|----------------|
| <b>グラフ凡例</b>   |
| ■ 当該施設値（当該値）   |
| — 類似施設平均値（平均値） |
| 【】 平成30年度全国平均  |

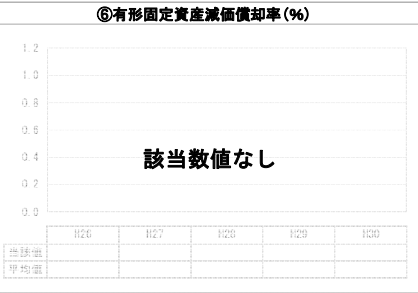
## 1. 収益等の状況



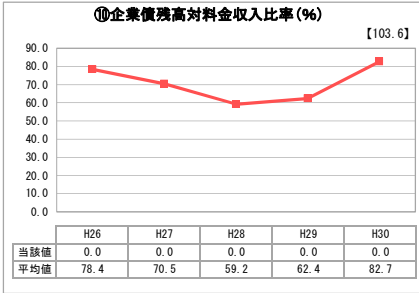
## 3. 利用の状況



## 2. 資産等の状況



|              |
|--------------|
| ⑦敷地の地価(千円)   |
| 186,877      |
| ⑧設備投資見込額(千円) |
| 6,233        |



## 分析欄

1. 収益等の状況について

①収益的収支比率  
平均値を下回っているが、数値が100%以上となっており、単年度の収支が黒字であることを表している。

②他会計補助金比率  
一般会計からの繰入金がないことから0%となっている。

③駐車台数一台当たりの他会計補助金額  
一般会計からの繰入金がないことから0円となっている。

④売上高GOP比率  
修繕費等の減少に伴い、数値が増加しており、平均値を上回っている。

⑤EBITDA  
修繕費等の減少に伴い、数値が増加しており、平均値を上回っている。

2. 資産等の状況について

⑦敷地の地価  
駐車場用地周辺の地価との比較において数値は低くなっている。

⑧設備投資見込額  
駐車場機器等の更新が必要であり、耐久状況を見ながら適切な時期に設備投資を実施していく必要がある。

⑩企業債残高対料金収入比率  
企業債残高がないことから0%となっている。

3. 利用の状況について

①稼働率  
平均値を下回っているが、市民のほか観光客等地域外からの来訪者による一定の利用を維持している。

全体総括  
本施設については、単年度の収支が黒字であり、一定の利用を維持している。今後も健全経営に努める。

経営戦略については、令和2年度までに策定を目指す。

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

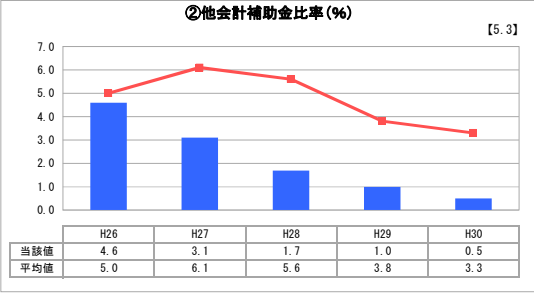
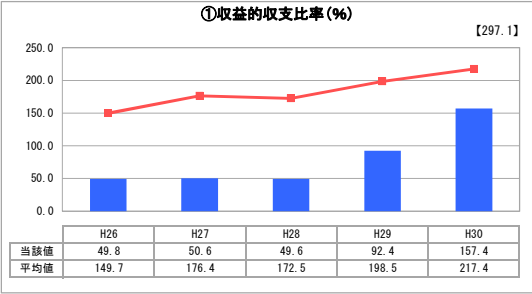
北海道釧路市 釧路錦町駐車場

| 業務名         | 業種名           | 事業名 | 類似施設区分      | 管理者の情報 |
|-------------|---------------|-----|-------------|--------|
| 法非適用        | 駐車場整備事業       | -   | A 1 B 2     | 非設置    |
| 自己資本構成比率(%) | 種類            | 構造  | 建設後の経過年数(年) |        |
| 該当数値なし      | 都市計画駐車場 届出駐車場 | 立体式 | 21          |        |

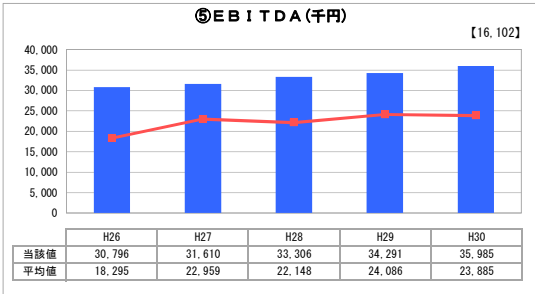
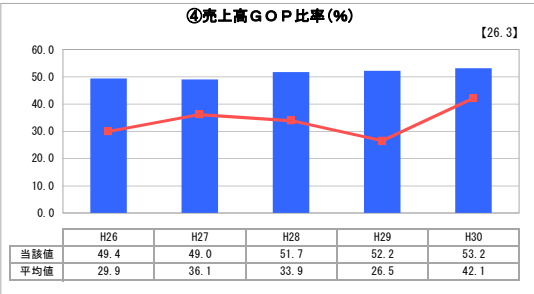
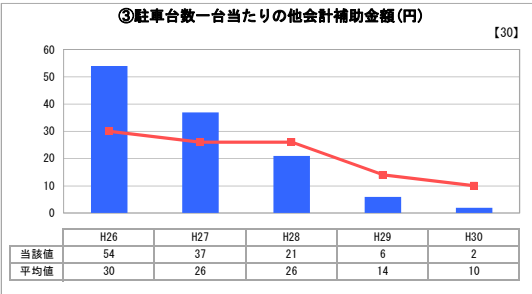
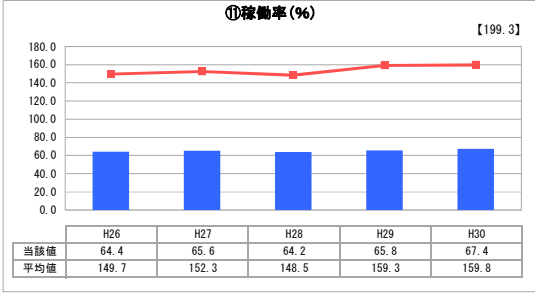
| 立地      | 周辺駐車場の需給実態調査   | 駐車場使用面積(㎡) |
|---------|----------------|------------|
| 公共施設    | 有              | 12,740     |
| 収容台数(台) | 一時間当たりの基本料金(円) | 指定管理者制度の導入 |
| 509     | 220            | 代行制        |

| グラフ凡例          |
|----------------|
| ■ 当該施設値（当該値）   |
| — 類似施設平均値（平均値） |
| 【】 平成30年度全国平均  |

## 1. 収益等の状況



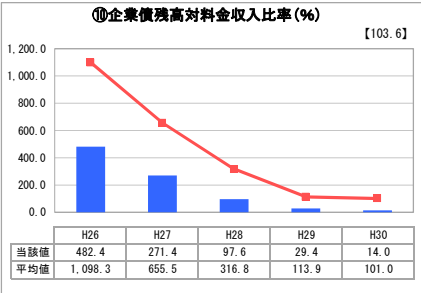
## 3. 利用の状況



## 2. 資産等の状況



| ⑦敷地の地価(千円)   |
|--------------|
| 75,801       |
| ⑧設備投資見込額(千円) |
| 59,573       |



## 分析欄

1. 収益等の状況について  
①収益的収支比率  
平均値を下回っているが、数値が100%以上となっており、単年度の収支が黒字であることを表している。  
②他会計補助金比率  
繰出基準に基づく繰入金であり、一般会計からの繰入金への依存度は小さい。  
③駐車台数一台当たりの他会計補助金額  
繰出基準に基づく繰入金であり、一般会計からの繰入金への依存度は小さい。  
④売上高GOP比率  
料金収入等の増加に伴い、数値が増加傾向であり、平均値を上回っている。  
⑤EBITDA  
料金収入等の増加に伴い、数値が増加傾向であり、平均値を上回っている。  
2. 資産等の状況について  
⑦敷地の地価  
駐車場用地周辺の地価との比較において数値は低くなっている。  
⑧設備投資見込額  
建設から21年が経過し、施設・設備の老朽化が進んでいることから、耐久状況を見ながら適切な時期に設備投資を実施していく必要がある。  
⑩企業債残高対料金収入比率  
数値が減少傾向にあり、企業債残高の規模は小さい。

## 3. 利用の状況について

①稼働率  
平均値を下回っているが、市民のほか観光客等地域外からの来訪者による一定の利用を維持している。

## 全体総括

本施設については、平成30年度から単年度の収支が黒字になり、一定の利用を維持している。令和元年度に企業債の償還が完了することから、以降は収支がさらに改善する予定である。今後も健全経営に努める。  
経営戦略については、令和2年度までに策定を目指す。